

発行年 (巻)	号	焦点, 特集等のテーマと収載論文
1996 (29 巻)	1	焦点●「看護ケアの質を構成する要素に関する質的研究」 序言「看護ケアの質を構成する要素に含まれる看護技術」 片田範子 研究「「痛みの緩和」における看護技術」 片田範子, 大崎富士代, 高谷裕紀子, 鈴木真知子, 村田恵子, 岩井さよ子, 亀谷文子, 檜垣美香子 研究「「モニタリング機能」を構成する看護技術」 内布敦子, 豊田邦江, 縄秀志, 松田裕子, 平尾明美, 鈴木久代 研究「家族を含めた看護ケア技術」 山本あい子, 小竹雪枝, 小林康江, 中込さと子, 勝原裕美子, 遠藤俊子, 我部山キヨ子, 片田範子 研究「患者の日常生活を改善・維持するための看護技術」 竹崎久美子, 塩塚優子, 三上由郁, 水谷信子 研究「医療チームの連携」を生み出す看護婦の技術」 近澤範子, 大川貴子, 青本さとみ
	2	テーマなし(原著論文) 「日本人妊婦における時間感覚, 母性課題, そして母性役割行動」 山本あい子 「訪問看護ステーションの経済的評価に関する研究」 清水洋子, 島内節 「看護管理者のライフコースとキャリア発達に関する実証的研究」 草刈淳子
	3	焦点●「痴呆性老人の看護に関する研究」 序言「痴呆患者の自立」 中島紀恵子 原著論文「痴呆性老人家族介護主担者の介護状況における比較研究—1982 年と 1991 年の調査から」 中島紀恵子, 永田久美子, 北川公子, 工藤禎子, 山田律子 原著論文「認知障害のある高齢者とその家族介護者の現状」 井上郁 研究「痴呆性老人の家族看護の発展過程」 諏訪さゆり, 湯浅美千代, 正木治恵, 野口美和子 研究「施設に入居した痴呆老人の徘徊行動の分析」 小泉美佐子, 大塚理香, 難波悦子, 加藤典子 報告「痴呆性高齢者への回想法—グループ回想法の効果と意義」 野村豊子 解説「痴呆性老人のコミュニケーション行動」 矢富直美 海外文献「痴呆性老人の興奮行動を軽減するための介入」 Mariah Snyder, Ellen C. Egan, Kenneth R. Burns, 北川公子
	4	焦点●「続・痴呆性老人の看護に関する研究」 レビュー「痴呆性老人と介護者の相互作用に関する研究と課題」 太田喜久子 報告「痴呆性老人へのアクティビティケアの実際」 櫻井紀子 研究「施設に入所している痴呆高齢者に対する演劇療法」 森山美知子, 鎌田ケイ子, 櫻井紀子 研究「一般病院におけるせん妄状態の実態」 長谷川真澄, 太田喜久子, 栗生田友子, 操華子, 南川雅子, 佐藤美峰子, 大友由香子, 津川若菜子, 黒木ひろみ
	5	焦点●「尿失禁患者の看護に関する研究」 解説「尿失禁をもつ人への行動科学的アプローチ—行動療法に焦点をあてて」 小松浩子 解説「尿失禁アセスメントツールの開発過程」 鎌田ケイ子 原著論文「尿失禁女性の sexuality への影響を測定する質問紙の作成と信頼性および妥当性の検討」 小松浩子, 小島操子, 鈴木久美, 南川雅子, 岡光京子, 野村美香, 伊藤恵美子 研究「在宅高齢者の尿失禁の内的外的要因と看護に関する研究」 亀井(深野木)智子, 島内節, 林正幸 研究「尿失禁をもつ中高年女性のコーピングに関する研究」 東玲子, 湯浅美千代, 佐藤弘美, 野口美和子 海外文献「老人科外来患者における尿失禁のアセスメントと行動療法に関する学際的アプローチ」 B.J. McDowell, K.L. Burgio, M. Dombrowski, J.L. Locher, E. Rodriguez, 松田たみ子, 塚田睦美 海外文献「尿失禁をもつ老年期女性の体験の探究」 Therese Trudel Dowd, 西川佳之, 太田喜久子
	6	焦点●「看護ケアパラダイムの変換をめぐる」 解説「エンパワメントに関する研究の動向と課題」 野嶋佐由美 解説「住民の力量形成—地域におけるケアのパラダイムシフト」 井伊久美子 解説「看護婦のエンパワメントに関する考察—個人およびチームにおける現象の分析と研究課題の焦点化の試み」 近澤範子 原著論文「顔に変形を生じた人々の自己呈示—頭頸部癌の手術を受けて」 宮田留理

- 1996 6 原著論文「子育てをしている母親のサポートグループを通じたエンパワーメント」 原田紀子
(29 巻) 原著論文「看護婦にとって魅力ある病院の管理システムとエンパワーメント」 中山洋子, 片平好重, 萱間真美
原著論文「エンパワーメント現象を生み出す看護者のこころのケアの特性」 中野綾美, 宮田留理, 畦地博子, 梶本市子, 中西純子, 宮井千恵, 梶原和歌, 長戸和子, 野嶋佑由美
-
- 1997 1 焦点●「在宅ケアに関する研究と課題」
(30 巻) 「在宅看護技術の体系化に関する研究」 川村佐和子
「訪問看護特有な問題はどこにあるか—安全性と安楽性の視点からの研究テーマ」 長谷川美津子
「看護場面での身体現象に関する米国の研究法」 輪湖史子
「在宅高齢者のうつ状態に関する文献検討」 佐久間えりか
「[シングルケース]スタディの方法論—その意義と活用上のポイント」 小林重雄
「音楽運動療法の効果に関する研究の可能性」 川島みどり
「諸外国の在宅ケア事情—変わりつつある看護機能を探る」 村松静子
原著論文「フロレンス・ナイチンゲールにおける在宅看護の概念」 小川典子
-
- 2 焦点●「レイニンガーの看護論と研究方法」
「レイニンガー看護論—わが国の看護にとっての意義」 稲岡文昭
「民族看護学の研究方法—アジアにおける看護知識の発見と発展のために」 Madeleine Leininger, 筒井真優美, 今井恵, 益守かづき
「Ethnonursing Research Method : Essential to Discover and Advance Asian Nursing Knowledge」 Madeleine M. Leininger
-
- 3 焦点●「ヘルスプロモーションに関する研究」
「ヘルスプロモーションの概念と動向」 工藤禎子, 中島紀恵子
「思春期の健康行動測定尺度の開発」 丸光恵, 工藤美子, 佐藤有紀子
「更年期女性のヘルスプロモーションと看護に関する研究—更年期外来における健康教育システムの開発と評価」 野地有子, 杉山みち子, 箕輪尚子, 久代和加子, 結城美智子, 小野(菊池)由美子, 久保田俊郎, 尾林聡, 麻生武志
「栄養学におけるヘルスプロモーション」 杉山みち子
「人々のなかへ—バングラデシュでの体験から」 泊美奈子, 谷敷時子
「翻訳青少年の運動に関する考えにおける性差と発達差および運動行動の予測」 Anne W. Garcia, Mary Ann Norton Broda, Marilyn Frenn, Cynthia Coviak, Nola J. Pender, David L. Ronis, 岩田裕子, 森恵美
-
- 4 テーマなし(原著論文)
「構造モデルを用いた入院患者の環境認知特性の把握」 川口孝泰, 櫻井利江, 松浦和幸, 勝田仁美, 根本清次, 南裕子
「難病患者の Quality of Life の向上についての一考察—パーキンソン病患者の主観的満足感を通して」 藤井千枝子, 青島多津子, 佐藤親次, 森田展彰, 大越教夫, 中村俊規, 小田晋
「看護専門職における自律性に関する研究—基本的属性・内的特性との関連」 菊池昭江, 原田唯司
「高齢者および慢性疾患患者の入院施設における MRSA 感染経路対策の検討—種々の型判別法による MRSA 分離株の分類と伝播経路の解析結果から」 高峰道子, 小野敏子, 嶋森好子, 堀木恵美子, 山口祐子, 古瀬浩介
「小児がん患児のきょうだいの変化ときょうだい関係に関する研究」 早川香
-
- 5 焦点●「在宅ケアのアウトカム」
「ホームケアにおけるアウトカムについて」 村嶋幸代, 金曾任, 福井小紀子, 金川克子
「MDS-HC の開発と在宅ケアのアウトカム研究」 池上直己
「在宅ケアのアウトカム研究—ケアの質管理プログラムの開発」 島内節, 季羽倭文子, 内田恵美子, 田上豊, 亀井智子
「アウトカムをベースに開発されたホームケア用の記録様式とその比較」 村嶋幸代, 福井小紀子, 金曾任, 金川克子
「翻訳在宅看護上級実践モデル」 Carmen J. Portillo, 小西かおる
「難病看護の開発過程—その成果と課題」 川村佐和子
-
- 6 焦点●「健康教育とヘルスプロモーション」

発行年
(巻) 号 焦点, 特集等のテーマと収載論文

- 1997 6 「健康教育におけるヘルスプロモーション」 川田智恵子
(30 巻) 「ヘルスプロモーションにおけるエンパワーメントの概念と実践」 清水準一
「自己コントロールとセルフケア」 西田真寿美
「健康教育におけるモデリング理論の将来」 河口てる子
「糖尿病患者教育と自己効力」 安酸史子
-
- 1998 1 焦点●「ヘルスプロモーション活動の実践と課題」
(31 巻) 「健康学習者の自己効力感／健康教育者の自己効力感」 近本洋介
「スタンフォード大学病院の糖尿病ケアプログラム」 Beverly A. Dyck, 近本洋介
「慢性疾患の自己管理—第3次予防のためのモデル」 Kate Lorig, 近本洋介
「自己効力を高める糖尿病教育入院プログラム開発への挑戦と課題—6ステップ・メソッドを適用して」 安酸史子, 住吉和子, 三上寿美恵, 佐々木雅美, 佐藤元香
「日本における禁煙指導の実際」 増居志津子, 中村正和, 大島明
「職域におけるヘルスプロモーション活動の模索と課題—健保組合のヘルスプロモーション・コーディネーターの立場から」 秋葉栄久子
「日本におけるヘルスプロモーション活動の課題と試案—スタンフォード大学医学部疾病予防研究センターの活動からの学びを通して」 高村寿子
-
- 2 焦点●「看護ケアの質の評価指標と評価方法の開発」
「看護ケアの質の評価基準に関する研究—指標開発」 片田範子, 内布敦子, 上泉和子, 山本あい子
「看護ケア構造指標の開発と検討—試案作成まで」 内布敦子, 河野文子, 高谷裕紀子, 和泉成子, 片田範子, 柴田秀子, 三上由郁, 青本さとみ, 小竹雪枝, 鈴木真知子, 鈴山久代, 磯村須眞子, 遠藤俊子
「看護ケア構造指標の試用と検討—試案のプレテスト結果から」 内布敦子, 河野文子, 高谷裕紀子, 和泉成子, 片田範子, 柴田秀子, 三上由郁, 青本さとみ, 小竹雪枝, 鈴木真知子, 鈴山久代, 磯村須眞子, 遠藤俊子
「看護ケア過程指標の開発」 山本あい子, 片田範子, 大崎富士代, 中込さと子, 縄秀志, 小高恵実, 上泉和子, 竹崎久美子, 大川貴子
「看護ケア過程指標の検証」 山本あい子, 片田範子, 大崎富士代, 中込さと子, 縄秀志, 小高恵実, 上泉和子, 竹崎久美子, 大川貴子
「看護ケア結果指標と測定用具の開発」 近澤範子, 勝原裕美子, 小林康江, 塩塚優子, 中岡亜紀, 片田範子, 栗屋典子, 蝦名美智子, 平尾明美
-
- 3 テーマなし(原著論文)
「がん患者用自己効力感尺度作成の試み」 塚本尚子
「患者の術前不安と手術受容度の関連—尿中カテコールアミンと状態不安による分析」 根本良子
「地域で生活をする精神分裂病者の自己決定に基づくセルフケア行動の実態」 宇佐美しおり
「臨床実習における学びの様相—現象学的アプローチによる体験世界の記述」 杉山喜代子, 鈴木治代, 田中悦子, 浦田照美, 紅林伸幸
-
- 4 焦点●「災害看護学の構築に向けて・I」
「文献からみた災害看護学の現状」 佐藤貴美子, 片田範子, 伊藤ひろみ, 井部俊子, 片田範子, 上泉和子, 佐藤貴美子, 新道幸恵, 増子ひさ江, 南裕子, 山本あい子, 渡辺智子
「火山噴火・重油流出事故による災害時の保健活動」 石垣和子, 別所遊子, 林喬子
「阪神・淡路大震災時の看護ボランティア活動の分析と評価」 上泉和子, 竹崎久美子, 勝原裕美子, 南裕子, 片田範子, 水谷信子, 山本あい子, 内布敦子, 井伊久美子, 豊田邦江, 塩塚優子, 飯岡由紀子, 三田由郁, 松岡千代
「地震災害の急性期における救急看護」 高橋章子
「災害による心理的影響と回復過程への支援—文献検討に基づく考察」 近澤範子
「阪神・淡路大震災による被災者への中期的ケア—継続的なケアを通してみた仮設住宅における高齢者のセルフケアの変化とその要因」 池田清子, 中野智津子, 能川ケイ, 梶谷佳子, 生島祥江, 藤本悦子, 西田恭仁子
-
- 5 テーマなし(原著論文)
「臨床看護実習プログラム“鼓モデル”の開発—ケアリングの考えを用いた臨床看護実践モデルとアクティブラーニング理論の連動」 野並葉子, 足利幸乃, 縄秀志, 豊田邦江, 飯岡由紀子

- 1998 6 焦点●「看護診断に関する研究と今後の課題」
(31 巻) 「研究テーマとしての看護診断と看護知識体系」 松木光子
「日本における看護診断 20 年の歩みと今後の課題」 草刈淳子
「看護診断に関する研究の動向」 江川隆子, 山本洋子
看護診断カテゴリーの「使用頻度」「重要度」「適切性」に関する研究」 大谷英子, 山本裕子, 松木光子, 小笠原知枝, 江川隆子
-
- 1999 1 焦点●「家庭訪問／訪問看護の意味を見いだす質的研究—Joyce Zerwekh 博士の研究と研究方法」
(32 巻) 「地域看護職の能力に関する研究と Joyce Zerwekh 博士の仕事—家庭訪問および訪問看護に焦点をあてて」 村嶋幸代, 斉藤恵美子, 服部真理子, 萩原章子, 鷺見尚己, 上野昌江, 金川克子
「家族の自助能力を支える基礎作りとしての訪問ケア—家族を見つける, 信頼関係を構築する, そして強さを育む」 萱間真美, 玉置夕起子, Joyce V. Zerwekh
「保健婦活動のための家族ケア提供モデル」 斉藤恵美子, Joyce V. Zerwekh
「ホスピス看護における家族ケアモデル」 永田智子, Joyce V. Zerwekh
「熟練保健婦の臨床能力に関する記述的研究の実際」 狭川庸子, Joyce V. Zerwekh
原著論文「精神分裂病者に対する訪問ケアに用いられる熟練看護職の看護技術—保健婦, 訪問看護婦のケア実践の分析」 萱間真美
-
- 2 研究論文集・原著論文
「看護専門職における自律性と職場環境および職務意識との関連」 菊池昭江
「がん患児を支える母親の内的過程—発病期から末期以前まで」 新山裕恵
「在宅高齢者の日常生活動作に対する自己効力感測定の試み—自己効力感と関連する要因の検討」 鈴木みずえ, 金森雅夫, 山田紀代美, 鈴木勝子, 斉藤一路女, 加納克己
「心理的な代理母親役を必要とした妊婦への援助」 佐藤珠美, 竹ノ上ケイ子, 松山敏剛
「地域に住む精神障害者の障害認識と対処努力—精神障害者の主観的体験に基づく分析」 葛西康子, 古塚孝
-
- 3 焦点●「災害看護学の構築に向けて・Ⅱ」
「被災者の生活立て直しへの援助—仮設住宅における看護活動の実績指標開発」 井伊久美子
「援助者自身の生活の立て直しへの援助—被災者であるとともに援助者でもある看護職者自身の生活の立て直しに向けての課題」 近田敬子, 石橋寿子, 宮島朝子, 大原美香, 志村満子, 藤本悦子, 山崎京子, 永野良子, 絹巻敏子, 梅津キミ, 大森綏子, 奥美恵子, 中野恵子, 田中由紀子, 垣内茂美, 山田富美子, 畠山文子, 今井イヨエ, 尾懸千秋, 井上冷子, 竹枝芳恵, 加集和喜子, 河関富美子, 大澤清美, 長谷起世子, 河本久美子, 石田弘美, 茂見ミチヨ
「防災と看護—病院の看護部門における危機管理」 新道幸恵
「災害看護学教育と意識の災害モードへの切り換え」 山本あい子
「災害看護ネットワークの試み—日本看護科学学会災害看護特別研究委員会の活動として」 片田範子
-
- 4 焦点●「感染看護に関する研究と実践」
「感染看護に関する看護研究の動向と今後の展望—私の考え方」 高橋泰子
「海外の感染看護に関する研究論文」 西岡みどり
「感染管理担当者のための教育」 Mary Castle White, Hanako Misao, 操華子
「手術部入口に設置した強酸性水湿潤マットの除菌効果」 豊田富士子, 森済省子, 新屋綾子, 斎藤由実子, 井上真由美, 吉田美恵子, 斎藤英昭, 遠藤美代子, 高橋泰子
「内科病棟における清潔管理に関する検討—空気中浮遊菌および床細菌を中心として」 遠藤美代子, 高橋泰子
「膀胱留置カテーテル装着患者の尿路感染成立と影響する因子についての検討」 井上都之, 宮沢広恵, 田村正枝, 石川みち子, 高橋泰子
「医療用手袋の役割と限界—看護職の健康を守るバリアとして」 佐々木美奈子, 高橋泰子
「重症患者ケア後のナース手指付着菌と石鹸・流水による手洗い後の手指生残菌に関する研究」 高橋泰子
「集中治療室(ICU)医療スタッフの手荒れ対策に関する研究」 斎藤ゆみ, 酒井美砂, 石田かよ, 市川法恵, 平山真喜子
-
- 5 焦点●「看護学の枠組みと学術用語としての看護用語」

- 1999 5 「看護学における学術用語の生成とその諸問題—現象から概念へ, そして学術用語の成立」 野
(32 巻) 島良子, 真壁五月
「看護実践のターミノロジーにおける問題点と課題—平成 8・9・10 年度日本看護科学学会看護学学術用語検討委員会活動報告をもとに」 藤崎郁, 中西睦子, 河口真奈美, 片山京子, 中根薫, 近森栄子, 安藤幸子, 村嶋幸代, 太田勝正, 田中初美, 山下欽子, 松本光子, 村田恵子, 新道幸恵
「看護用語とその分類における課題」 中木高夫
「情報科学からみた看護診断分類の分析」 木村義
「CINAHL 看護シソーラスの翻訳と分析」 和田佳代子, 伊関節子, 松本直子
-
- 6 研究論文集
総説「セクシュアリティに対する看護者の知識／態度—文献的考察」 朝倉京子
調査報告「出生前診断に対する態度とその変容可能性」 玉井真理子
研究報告「高齢者の睡眠に及ぼす寝床内暖房器具の影響」 宮島朝子, 若村智子, 柴田しおり, 志村満子, 大原美香, 近田敬子, 柴田真志
研究報告「咀嚼運動による脳血液循環の変化測定におけるドプラー法の有効性」 杉山公子, 奥村千春, 渡邊信一郎
研究報告「在宅介護者の Health Related QOL の測定—訪問看護ステーション利用者の介護者と非介護者の比較」 古瀬みどり, 鈴鴨よしみ, 熊野宏明
研究報告「訪問看護婦のストレス因子の検討」 松山洋子, 若佐柳子, 青木きよ子
研究報告「看護婦の「バーンアウト」と「共依存」傾向に関する研究」 細見潤, 藤本洋子, 片平久美, 古家隆
資料「脳血管障害者と家族介護者を対象とした支援プログラム開発のための文献検討」 河原加代子
-
- 2000 1 焦点●「看護学における先端科学の推進—看護学の COE 形成に向けて」
(33 巻) 「鼎談」看護学における先端科学とは—看護学の COE (Center of Excellence) 形成に向けて 早川和生, 筒井真優美, 羽山由美子
「COE の重要性と日本における起爆的効果」 伊藤美樹子
「先端科学研究のメッカ: 米国国立衛生研究所 (NIH) について」 前田ひとみ
「開発・創造型研究とナース・サイエンス」 川口孝泰
-
- 2 焦点●「続・看護学における先端科学の推進」
「看護の科学を模索する—複雑系の科学の可能性」 川原由佳里, 吉田みつ子, 樋口康子
「カオス理論 (Chaos Theory) と看護研究」 川原由佳里, 守田美奈子, 吾妻知美
「看護学における先端科学としての看護情報学」 山内一史
-
- 3 焦点●「臨床看護に関する研究の動向と今後の課題—20 世紀から 21 世紀へ向けて」
「精神看護に関する研究の動向と今後の課題」 神郡博
「転倒防止に関する研究の動向と今後の課題」 泉キヨ子
「褥瘡のケアに関する研究の動向と今後の課題」 真田弘美, 大桑麻由美
「慢性病患者のケアに関する研究の動向と今後の課題」 牛久保美津子, 数間恵子
「糖尿病患者のケアに関する研究の動向と今後の課題」 河口てる子, 西片久美子, 高瀬早苗
クリティカルパスの研究 菅田勝也, 武村雪絵
-
- 4 焦点●「臨床看護に関する研究の動向と今後の課題・Ⅱ—20 世紀から 21 世紀へ向けて」
「わが国のターミナルケアに関する研究の動向と今後の課題」 射場典子, 川越博美
「腎不全患者のケアに関する研究の動向と今後の課題—新世紀へ向けて」 江川隆子
「リハビリテーション看護に関する研究の動向と今後の課題—21 世紀の看護の発展に向けて」 奥宮暁子, 宮腰由紀子
「看護管理学に関する研究の動向と今後の課題」 金井 Pak 雅子
「看護教育に関する研究の動向と今後の課題—20 世紀から 21 世紀へ」 小山真理子
-
- 5 焦点●「研究の枠組みと研究方法のクリティック—サブストラクションによる分析と統合」
「ヘルスケアリサーチのためのサブストラクションとアウトカムモデル」 William L. Holzemer, 岸本好美, 坂牧千秋, 中嶋須磨子, 和田恵美子, 田代順子
「Substruction and The Outcomes Model for Health Care Research」 William L. Holzemer
「サブストラクションの原理と実際—サブストラクションを自分のものにするために」 藤崎郁
「サブストラクションの手法を用いた研究のクリティック: 変数に関して」 萩原綾子, 安藤つ

ぐみ, 片岡弥恵子, 辻恵子, 土江田奈留美

「サブストラクシヨンの手法を用いた研究のクリティーク: 標本の大きさ」 長谷川久巳, 北原可織, 角田祐紀子, 山西緑

「サブストラクシヨンの手法を用いた研究のクリティーク: 測定用具」 大熊恵子, 江上京里, 酒井昌子, 臺有桂

「大学院教育における看護学研究法としてのアウトカムモデルとサブストラクシヨンの意義と活用」 田代順子

「クリティークから統合への道すじ—低体温と創傷感染に関する研究論文のサブストラクシヨンを通して」 操華子

2000 6 焦点●「臨床看護に関する研究の動向と今後の課題・Ⅲ—20世紀から21世紀へ向けて」

(33 巻) 「急性期患者のケアに関する研究の動向と今後の課題」 井上智子

「救急看護に関する研究の動向と今後の課題」 山勢博彰, 山勢善江

「わが国における老年看護学研究の動向と今後の課題」 北川公子, 萩野悦子, 中島紀恵子

「日本の小児看護に関する研究の動向と今後の課題」 筒井真優美, 小村三千代, 飯村直子, 福地麻貴子, 込山洋美

「看護歴史に関する研究の動向と今後の課題」 高橋みや子, 三上れつ

2001 1 焦点●「看護研究方法としての疫学的研究方法—疫学調査から EBN へ」

(34 巻) 「看護研究における疫学的研究方法の意義と展望—EBN における研究方法論」 中野正孝

「疫学的方法とは—集団の科学的研究方法のエッセンス」 野尻雅美

「看護研究への EBM / EBN の導入」 阿部俊子

「【疫学的方法の実際: 横断研究】千葉市における痴呆性高齢者およびその家族の支援に関する調査研究」 櫻庭けい子, 瀧口起美代, 古屋晴子, 石田美由紀, 漆崎育子, 山本多喜子, 中村栄子, 西村明, 中野正孝

「【疫学的方法の実際: ケースコントロール研究】小児肥満予防のための地域看護的介入に関する基礎的研究」 斎藤好子, 水口浩光, 嶋崎典子, 井上知美, 高橋知佐子, 西部美由紀, 森川有子

「【疫学的方法の実際: コホート研究】「ほけ」のリスク要因について—静岡県 N 町・K 村における 1985 年健診コホートの 10 年後の生命・生活予後」 野尻雅美, 中野正孝, 宮崎有紀子, 島田陽子, 島正之, 平野秀子, 小林美保子

[対談] 3 編の論文をクリティークする—バイアスにどう対処するかを中心に 中野正孝, 野尻雅美

2 焦点●「看護研究と倫理」

「Trends in the Ethics of Conducting Nursing Research with Human Subjects」 Anne J. Davis, 片田範子

「看護研究の倫理審査体制づくり」 南裕子

「看護研究の倫理審査—人間を対象とした看護研究について」 片田範子

「看護教育者の課題—研究倫理からの問いかけ」 野嶋佑由美

「研究発表・論文公表時の倫理的配慮と研究者の倫理」 稲岡文昭

「小児とその家族を対象とする看護研究における倫理的配慮」 内田雅代

「研究対象者から同意を得る上での倫理的配慮」 近澤範子

「看護教育研究において生ずる研究対象者へのリスクとその配慮」 宮島朝子

「がん看護学研究において生ずる研究対象者へのリスクとその配慮」 内布敦子

[資料] ヘルシンキ宣言—ヒトを対象とする医学研究の倫理の原則 世界医師会, 日本医師会

3 焦点●「臨床看護に関する研究の動向と今後の課題・Ⅳ—20世紀から21世紀へ向けて」

「母性看護の研究の動向と今後の課題」 石村由利子, 三枝清美, 澤井早苗, 今田葉子, 村本淳子, 永見桂子, 前原澄子

「家族看護研究の動向と今後の課題」 鈴木和子

「人間の生物学的側面に焦点を当てた看護研究の動向と今後の課題」 菱沼典子, 櫻井利江

4 焦点●「IT 時代における看護研究の取り組み—一次世代型遠隔看護システムの構築に向けて」

「新しい看護のパラダイムを拓く遠隔看護(telenursing)—その意義と世界の動向」 川口孝泰

「次世代型遠隔看護システム構築に向けての取り組み」 川口孝泰, 太田健一

「指尖容積脈波のカオス解析による日周期性疲労の評価—遠隔看護におけるバイタル情報の活用」 川口孝泰, 東ますみ, 太田健一, 鶴山治

発行年 (巻)	号	焦点, 特集等のテーマと収載論文
2001 (34 巻)	4	「患者の苦痛表情分析による緊急性評価法—ビデオメールを用いた遠隔看護システムの構築」 太田健一, 野村典子, 太田知佳子, 川口孝泰 「電子メールを通じたケアの有効性—在宅における癌患者家族に対する経験を通して」 鮫島輝美, 杉本初枝 「社会還元に向けた研究成果の特許申請と TLO の活動について」 長富弘充, 野村興一
	5	焦点●「臨床看護に関する研究の動向と今後の課題・V—20 世紀から 21 世紀に向けて」 「臨床看護技術研究の意義と今後の課題」 川島みどり 「基礎看護技術の研究の動向と今後の課題」 太田節子
	6	焦点●「看護実践・理論・研究をつなぐアクションリサーチ」 「看護におけるアクションリサーチ総説」 嶺岸秀子, 遠藤恵美子 「看護におけるアクションリサーチ: ミューチュアルアプローチの理論」 遠藤恵美子, 新田なつ子 「看護におけるアクションリサーチ: ミューチュアルアプローチの方法」 遠藤恵美子, 新田なつ子 〈ケース・スタディ〉末期がん患者・家族の看護ケアの改善をめざして—ミューチュアルアプローチのアクションリサーチ 遠藤恵美子, 千崎美登子, 新田なつ子, 齋藤亮子, 嶺岸秀子, 諸田直実, 久保五月 「看護におけるミューチュアルタイプのアクションリサーチを推進する力」 齋藤亮子, 遠藤恵美子, 千崎美登子, 桃園忍, 久野多恵, 西又玲子, 赤羽寿美 「看護におけるアクションリサーチ: エンハンスメントアプローチの理論と方法論」 稲吉光子
2002 (35 巻)	1	焦点●「訪問看護の現状とグランドデザイン」 「訪問看護制度の変遷」 佐藤美穂子 「訪問看護—病院から訪問看護ステーションへ」 村嶋幸代, 永田智子, 春名めぐみ 「データにみる介護保険施行後の訪問看護の実態」 石井やよ江 「データにみる介護保険施行後の訪問看護ステーションの経営実態」 濱本百合子, 緒方泰子 「訪問看護の効果—在宅ターミナルケア」 川越博美, 長江弘子, 酒井昌子, 松村ちづか 「訪問看護の人材育成の変遷と課題」 岡谷恵子 「海外の訪問看護の実態—日本の将来展望のために」 島内節 「介護保険施行後の訪問看護のグランドデザイン」 佐藤美穂子, 岡谷恵子, 村嶋幸代
	2	焦点●「Evidence Based Nursing—その基本と実践・研究・教育への活用」 「看護実践におけるエビデンス—EBN とは何か? どのように実践したらよいのか?」 外崎明子, Linda Johnston 「文献検索ガイド—EBN を実践するための情報源」 松本直子 「リサーチ・クリティーク—研究をどう評価するか」 外崎明子, Linda Johnston 「エビデンスに基づく看護実践—尿失禁ケアの試み」 小松浩子 「臨床現場での EBM の実践—高齢者収縮期高血圧患者を例に」 名郷直樹 「エビデンスを実践に活かす—実践の場で変革を進めるための戦略」 外崎明子, Linda Johnston 「フォーラム」 堀内成子, 小松浩子, 外崎明子, Linda Johnston, 松本直子, 名郷直樹
	3	テーマなし(原著論文) 「看護師の職業的アイデンティティに関する中範囲理論の構築」 グレグ美鈴 「マッサージによる筋肉内注射時の痛みの軽減」 森下晶代, 中田康夫, 藤原由佳, 阪本智華, 高谷嘉枝, 津田紀子 「症状マネジメントにおける IASM の有効性の検討—がん性疼痛の症状マネジメントにおける比較から」 荒尾晴恵
	4	焦点●「慢性性(Chronicity)と生活史に焦点を当てた看護学的研究—これからの慢性疾患研究に求められる視点」 「病いの慢性性 Chronicity と生活者という視点—コンプライアンスとアドヒアランスについて」 黒江ゆり子 「病いの慢性性 Chronicity と個人史—わが国におけるセルフケアから個人史までの軌跡」 黒江ゆり子, 藤澤まこと, 普照早苗 「抗 HIV 薬の服薬アドヒアランスの維持因子」 井上洋士, 岩本愛吉, 栗原健, 小島賢一, 乃村万里, 堀成美, 村上未知子, 山元泰之

- 2002 4 「翻訳思春期にある慢性疾患患者のコンプライアンス測定用具の開発 Helvi A. Kyngäs,
(35 巻) Carrie A. Skaar-Chandler, Mary E. Duffy, 内藤明子
「医療人類学からみた慢性疾患と人間」 佐藤知久
座談会「これからの慢性疾患に関する研究の視点」 黒江ゆり子, 井上洋士, 佐藤知久, 市川元子
-
- 5 焦点●「実践に向けた高齢者ケア研究の方向性と課題」
「わが国における痴呆性高齢者のデイケアに関する研究の動向と課題」 伊勢崎美和, 北川公子
「わが国における高齢者のうつに関する研究の動向と課題」 井出訓, 高岡哲子
「痴呆高齢者の摂食困難の評価とケアに関する研究の動向と課題」 山田律子
-
- 6 焦点●「看護継続教育論—3 領域への研究的アプローチ」
「わが国における看護継続教育研究の動向」 舟島なをみ, 定廣和香子
「看護問題対応行動自己評価尺度(OPSN)の開発」 定廣和香子, 山下暢子
「看護管理者が知覚する院内教育の課題」 三浦弘恵
「看護学教員のロールモデル行動に関する研究—ファカルティ・ディベロップメントの指標の探求」 村上みち子, 舟島なをみ